

P o i n t 光学系における受光側高さ制限スリット

受光側の高さ制限スリットは、極点図の α 方向の分解能を決定します。
ゴニオ半径185mmの場合、5mmの高さ制限スリットが付属します。
この5mmの高さ制限スリットはステップ幅5度に対応しています。
通常ODFの極点測定は α 、 β 共5度とされている。

受光スリットは極点図の分解能に影響する結果になりました。

2010年05月31日

測定条件

40 kV - 40 mA

DS = 1 / 2 deg. (高さ制限 2 mm)

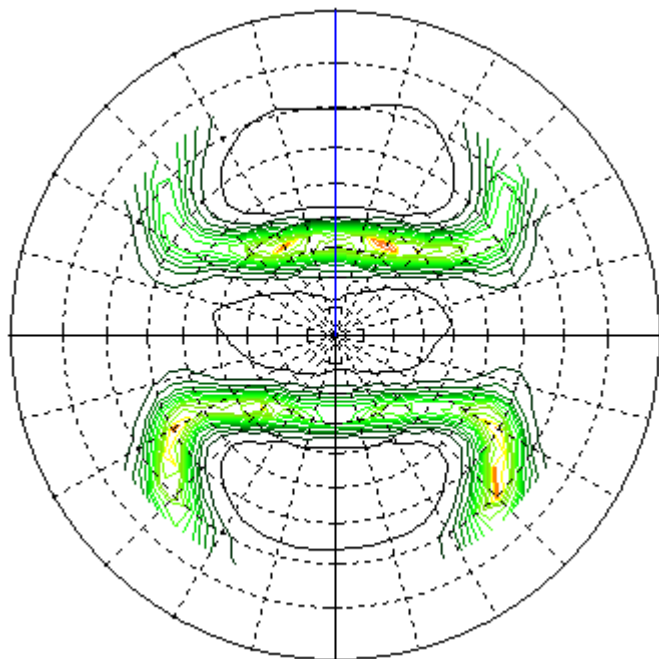
Schulzスリット

SS = RS = 7 mm

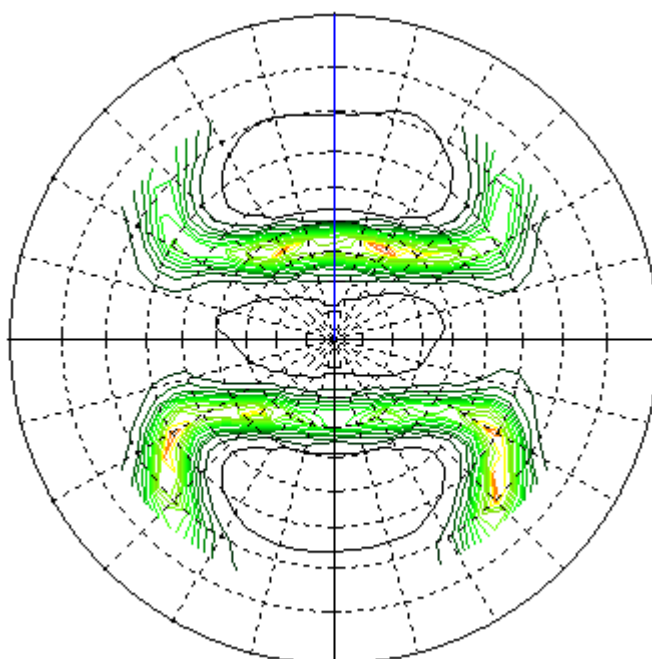
比較 受光側高さ制限スリット 5 mm のありなし

高さ制限あり (H = 5 mm) {200}

なし (H = open) {200}

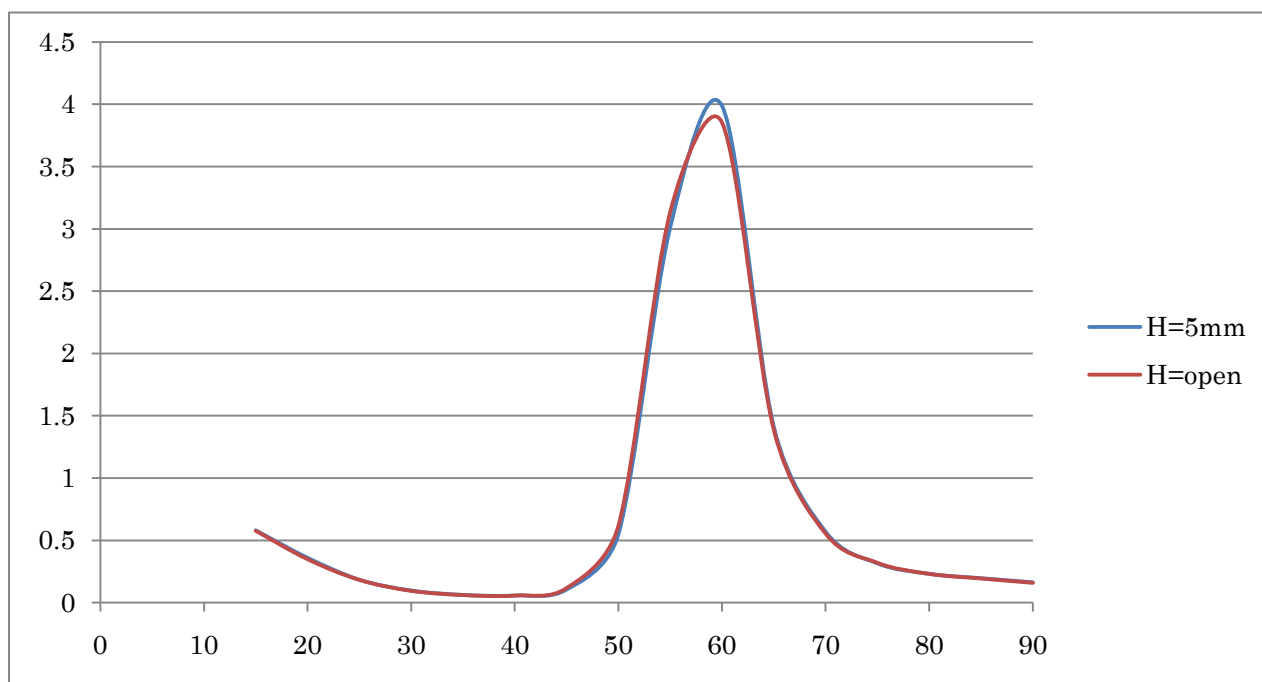


Max = 143640



Max = 170969

データ処理後 (BG, Defocus, 強度規格化) $\beta = 0$ 、 α 方向プロファイル

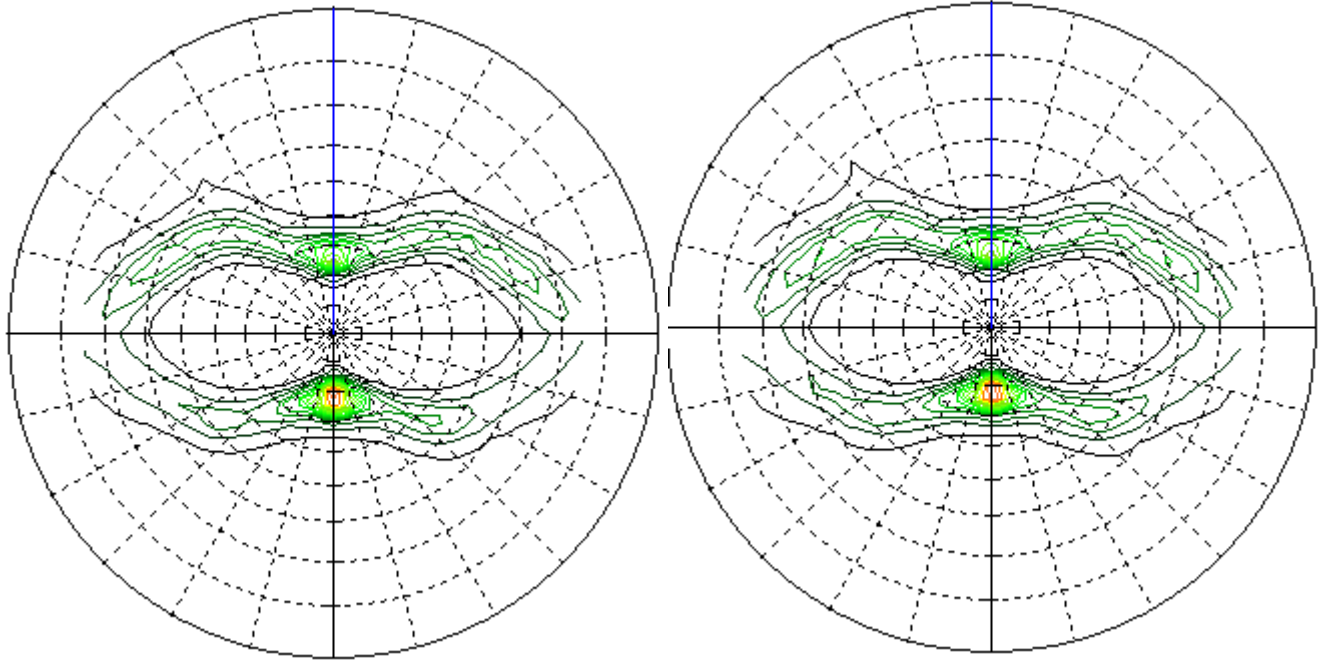


規格化後のMax強度は受光側高さ制限付きが勝る。

{111} で比較

H = 5 mm

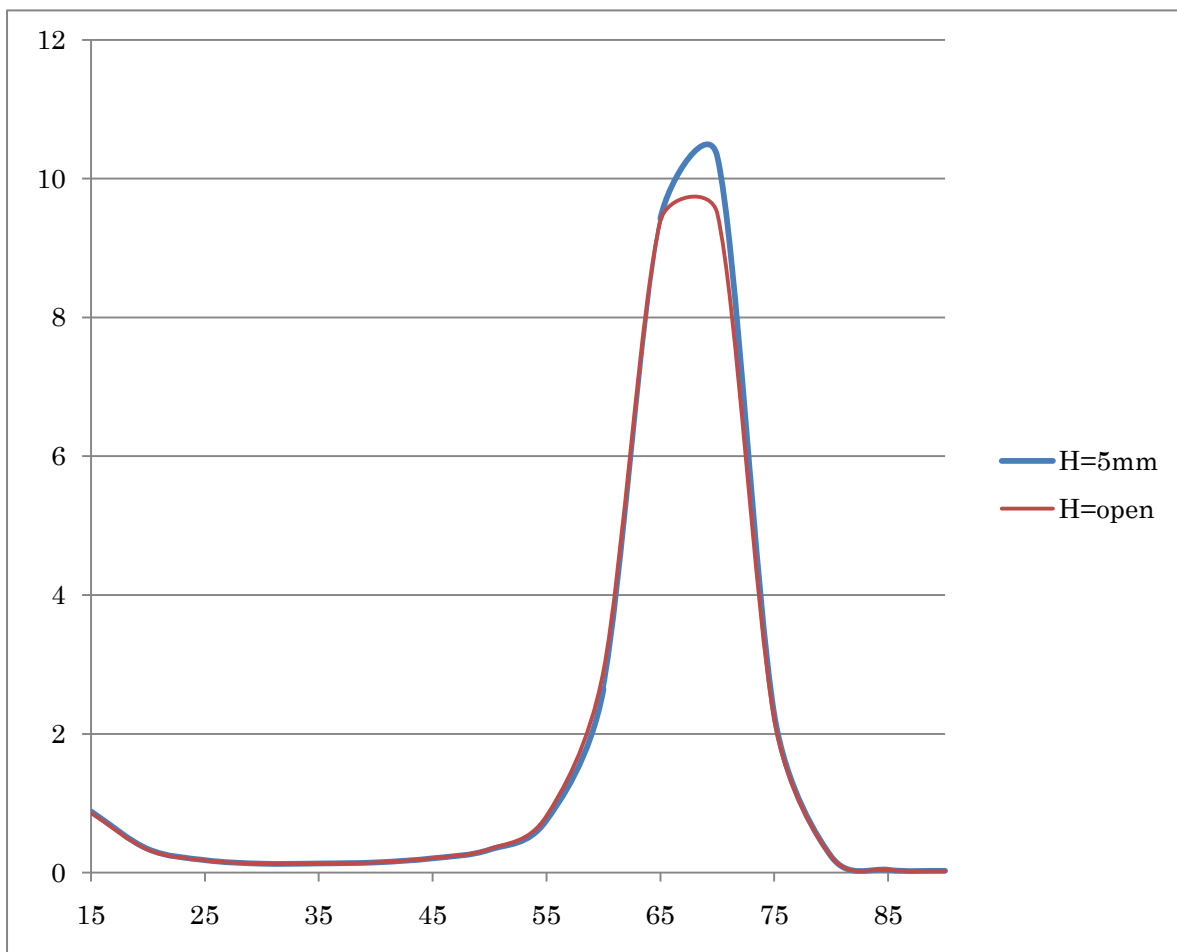
H = open



Max = 560357

Max = 636987

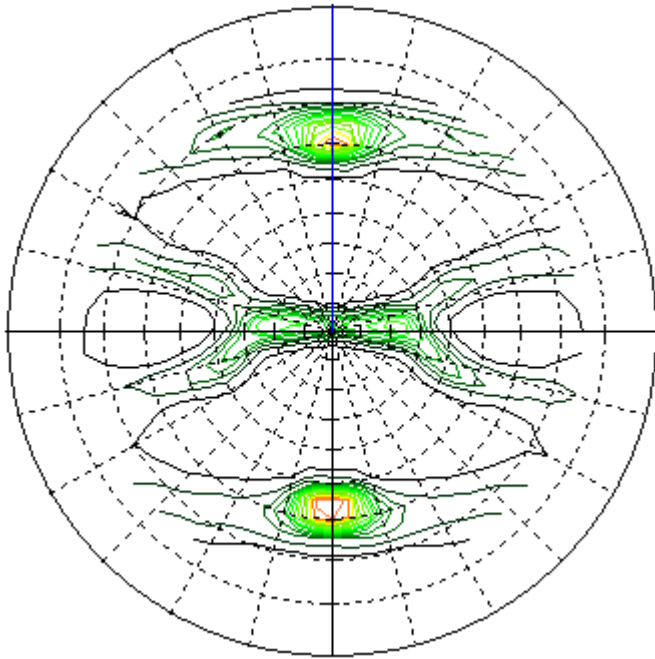
データ処理後 (BG, Defocus, 強度規格化) $\beta = 180$ 、 α 方向プロファイル



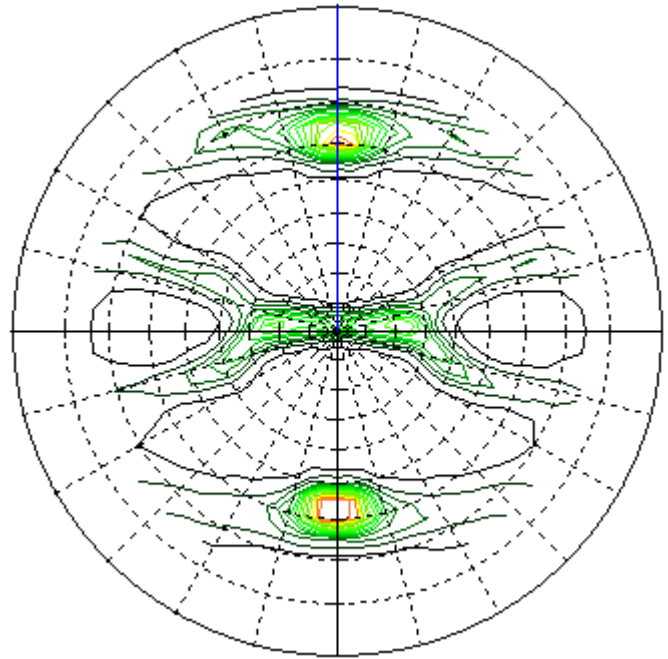
{220} で比較

H = 5 mm

H = open



Max = 140533



Max = 166481

データ処理後 (BG, Defocus, 強度規格化) $\beta = 180$ 、 α 方向プロファイル

